

聖書日課 『からし種』 2021.3.28-4.4

<p>3月28日 (日) イザヤ 27章</p>	<p>「主であるわたしはその(ぶどう畑の)番人。常に水を注ぎ／害する者のないよう、夜も昼もそれを見守る」(3節)、「わたしを砦と頼む者は／わたしと和解するがよい」(5節)。「和解」とはいわゆる「仲直り」ではない。昼も夜もぶどう畑に水を注いで見守られる「主との正しい関係」を、私たちが求めていくこと。その主の招かれる礼拝に心と体を整えて共に集おう。</p>
<p>29日 (月) イザヤ 28章</p>	<p>「それゆえ、主なる神はこう言われる。『わたしは一つの石をシオンに据える。これは試みを経た石／堅く据えられた礎の、貴い隅の石だ。信ずる者は慌てることはない』(16節)。十字架のキリストこそ「貴い隅の石」。この主につながる時、目に見える現実に振り回されて一喜一憂するのではなく、主の真実の愛に堅く立てられ平安を味わう者とされる。</p>
<p>30日 (火) イザヤ 29章</p>	<p>「その日には、耳の聞こえない者が／書物に書かれている言葉をすら聞き取り／盲人の目は暗黒と闇を解かれ、見えるようになる」(18節)。耳の聞こえない人が聴き取っている神の言葉があり、盲目の人が見ている神の国の働きがある。「その日」とは、「聞こえない／見えないハンディ」が逆転し、尊ばれる世界。共に「その日」を待ち望む者とされて。</p>
<p>31日 (水) イザヤ 30章</p>	<p>「あなたを導かれる方は／もはや隠れておられることなく／あなたの目は常に／あなたを導かれる方を見る」(20節)。「主が民の打ち傷を包み／重い打ち傷をいやされる日」(26節)、世界中のすべての者が神をはっきり見て、はっきり知ることになる。十字架に磔(はりつけ)にされた方こそ、すべての私たちを救い、和解と平和に導かれる方であることを。</p>

メール配信登録メール [senfkorn.obc@gmail.com](mailto:senfkorn.obc@gmail.com)

大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2021.3.28-4.4

<p>4月1日 (木) イザヤ 31章</p>	<p>「翼を広げた鳥のように／万軍の主はエルサレムの上にあつて守られる。これを守り、助け、かばって救われる。イスラエルの人々よ、あなたたちが背き続けてきた方に立ち帰れ」(5-6節)。天敵の攻撃から我が子を守るために、親鳥は自らの命を投げ出し、巣の上に翼を広げる。「主よ、彼らをお赦してください」と祈られた十字架の主の深い祈りを心に刻んで。</p>
<p>2日 (金) イザヤ 32章</p>	<p>「正義が造り出すものは平和であり／正義が生み出すものは／とこしえに安らかな信頼である」(17節)。主の正義が私たちの間に平和をつくりだし、人と人との間に安らかな信頼を生み出す。けれども、主の正義の前にわたしの罪(ずるさや傲慢)が砕かれなければ、それは実現しない。聖金曜日。主の十字架の前に低く、小さく、祈る者とされて。</p>
<p>3日 (土) イザヤ 33章</p>	<p>「(主は)シオンに正義と恵みの業を満たされる。主はあなたの時を堅く支えられる。知恵と知識は救いを豊かに与える。主を畏れることは宝である」(5-6節)。人間の知恵や力では神の愛あふれる世界を実現することはできない。十字架の主のみがこの世界に正義と恵みを満たされる。この方を礼拝する群れが何よりもまず主を畏れる知恵に満たされるように。</p>
<p>4日 (日) イザヤ 34章</p>	<p>「主の書に尋ね求め、読んでみよ。これらのものに、ひとつも欠けるものはない。雌も雄も、それぞれ対を見いださぬことはない。それは、主の口が命じ／主の霊が集めたものだからである」(16節)。主の復活を通して私たちに約束されているのはインマヌエルの神が、今を私たちと共にいてくださること。復活の希望は欠けることなく私たちに与えられている。</p>